

令和
~~平成~~元年 9月 1日

政務活動費行政視察報告書

視察期日 ^{令和}~~平成~~元年 8月 8日 ~ ^{令和}~~平成~~元年 8月 9日

視察地及び項目 西宮市 1被災者支援について (視察内容)

大阪市 2体験型視察について

視察参加者 (氏名) 吉川 晃郎、西川 知男、今村 弘志

視察内容 別紙のとおり

報告者 (氏名) 吉川 晃郎

公明党会派行政視察報告

1、被災者支援システムについて

「被災者支援システム」は、1995年の阪神・淡路大震災の際に甚大な被害を受けた西宮市により開発されて被災者支援や復興・復旧支援に大きな力を発揮し、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）を通じて全国の地方公共団体様向けに無償で公開・提供されている汎用 Web システムです。

これは、地震や台風などの災害発生時における地方公共団体の業務を総合的に支援することを可能にしました。平成 17 年度には、汎用 Web システムとして当時の財団法人地方自治情報センター（LASDEC）の地方公共団体業務用プログラムライブラリに登録し、全国の地方公共団体に無償で公開・提供されてきました。

2、大阪市立阿倍野防災センター あべのタスカル

1995年に発生した阪神・淡路大地震以降、関西でも東南海・南海地震の発生が危惧される中、地震をはじめとした大災害に対する、市民の防災知識と技術に対するニーズの高まりを背景に、阿倍野防災センターは、広く市民の防災に対する知識と技術を総合的な体験を通して学習出来る施設です。

館内は豊富なデータベースから、防災や災害に関する情報を調べることができる防災学習ゾーンと、地震で崩れ落ちた街中を一連の流れの中で避難・体験し、地震や火災などの災害時に必要な行動をわかりやすく学ぶことができる地震災害体験ゾーンがある。なかでも阪神・淡路大震災規模の震度 7 の大きさを体感できるバーチャル地震コーナーや、2F 建て家屋の消火を体験する消火コーナーは真に迫る迫力。4つの見学コースが設定され、事前予約すれば案内してもらえます。